

令和元年度

苫小牧市立病院新改革プラン評価報告書

令和元年11月

苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会

目 次

1	はじめに	1
2	新改革プランに対する点検及び評価結果	
	(1) 委員会としての具体的な評価手法	2
	(2) 委員会評価	2
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅰ	5
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ	7
	苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅲ	9
	【附属資料】	
	委員名簿	10
	委員会の開催状況等	11

1 はじめに

本委員会は、平成29年2月に策定された「苫小牧市立病院新改革プラン」の進捗状況に対する点検及び評価、市立病院の経営状況に係る専門的な意見を提言することを目的として、医療関係、経済界、学識経験者からなる外部委員で構成された評価委員会である。

今年度は、計画期間の3年目である平成30年度分について、点検及び評価、並びに意見提言を求められた。

点検・評価手法は、平成29年2月に策定されたプランと平成30年度決算を踏まえたローリング版について、市立病院が平成30年度目標値と平成30年度実績値を比較することにより、自らの経営状況を評価した自己評価に基づき、委員会での審議を重ねた。具体的な評価・意見等については、本編に示したので御覧いただきたい。

経営状況としては、東胆振医療圏域の中核病院として、経営資源をおおむね適正に活用し、地域医療に貢献していることがうかがわれるものであったが、目標未達成の項目については、令和2年度までの計画期間において目標が達成されることを期待する。

今後も、医療を取り巻く状況は依然として厳しく、先行き不透明な要素も多くあるが、プランの着実な進捗を推し進めることにより、東胆振医療圏域の中核病院として、高度・政策医療の充実に努めるとともに、計画期間内に安定的な経営基盤を確立されることを希望する。

令和元年11月

苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会

委員長 豊田 健一

2 新改革プランに対する点検及び評価結果

(1) 委員会としての具体的な評価手法

苫小牧市立病院が策定した「苫小牧市立病院新改革プラン自己評価（令和元年9月苫小牧市立病院）」（以下、病院評価）に示された自己評価について、本委員会において病院から項目ごとに説明を求め、内容を審議した。評価基準は病院評価と同じものを用いることとした。

特に病院評価と委員会としての評価・意見が異なるものについては、委員会としての評価及び意見を付した。

[評価基準]

A：プランの目標値を余裕をもって達成し、ある程度の付加価値が生じた。

B：プランの目標値は達成した。

C：プランの目標達成に向けて取組みはしているが、現状未達成である。

D：プランの目標達成に向けて取組めていない。

E：検討して（されて）いない。

—：評価対象外

(2) 委員会評価

[総評]

今年度は計画の3年目であり成果を問われる時期だが、医師の安定確保による診療体制の構築や資金不足の解消など、課題を残す結果が見受けられた。また、プランの目標値をわずかに達成していない項目や、病院評価において「C」評価とされているものも多くある。

プラン策定時の目標値だけではなく、実績値に置き換えたローリング版とも比較・分析するなど、手法の工夫を求めたい。

厳しい経営状況であるが、東胆振医療圏域の中核病院として地域医療において果たす役割は非常に大きいことから、今後も経営資源を有効に活用し、経営改善に向けた更なる努力を期待する。

また、「D」評価（「取組めていない」）、「E」評価（「検討していない」）とされている項目はなく、全ての評価項目について病院として取り組んでいることを確認した。

〔個別項目の評価〕

委員会審議の結果、病院評価と違う委員会評価としたもの、また、特に評価・意見を付すこととしたものについて、以下に示す。

・ 【医療機能等指標に係る項目】 項番 3 「紹介患者数」

多くの診療科ではおおむね維持できているものの、診療体制の変更などにより、一部の診療科で紹介患者が減少し、全体的には下回る結果となっている。受け入れ体制を整えるとともに、引き続き地域連携を図り、紹介患者数の増加を期待する。

・ 【収支改善に係る項目】 項番 6 「資金不足比率」

収益の減少や地方公営企業会計制度の見直しによる影響等もあり、資金不足比率は年々上昇している。紹介患者数や患者一人当たりの単価の増加等、早急に資金不足解消につながる病院独自の経営努力を期待する。

・ 【収入確保に係る項目】 項番 10 「病床利用率」

病院は、病床利用率減少の要因について

- ・ 医師の異動や両立支援などによる診療体制の変更
- ・ 治療方針の変更

を挙げているが、医師の安定確保等、診療体制の構築はもちろんのこと、病院の特色（強み）を生かし、病床利用率を上げていく必要がある。

・ 【医療従事者の確保・育成】 項番 1 「安定した医師確保」

医師の両立支援や退職による診療体制の変更は、やむを得ない事情ではあるが、経営に少なからず影響を及ぼしている。一方で、大学病院からの非常勤医師の応援等により、診療を継続していることは評価できる。

- ・ 【医療従事者の確保・育成】 項番6 「働きやすい院内環境の整備など」
24時間保育の継続のほか、医師の早期復職に寄与している。また待機児童もいないことから、働きやすい環境が整備されていると判断できる。
病院評価は「B」としていたが、委員会としては「A」とする。

個々の評価項目に対する本委員会の評価及び意見の一覧については、5～9ページに示した。

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目 I

【医療機能等指標に係る項目】

項番	項目	30年度 目標値	30年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
1	救急患者数	4,500	4,654	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	手術件数	2,500	2,511	B	B	
3	紹介患者数	9,850	8,758	C	C	多くの診療科ではおおむね維持できているものの、診療体制の変更などにより、一部の診療科で紹介患者が減少し、全体的には下回る結果となっている。受け入れ態勢を整えるとともに、引き続き地域連携を図り、紹介患者数の増加を期待する。

【収支改善に係る項目】

項番	項目	30年度 目標値	30年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
4	経常収支比率	99.4	99.6	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
5	医業収支比率	92.0	90.8	C	C	
6	資金不足比率	8.1	9.8	C	C	収益の減少や地方公営企業会計制度の見直しによる影響等もあり、資金不足比率は年々上昇している。 紹介患者数や患者一人当たりの単価の増加等、早急に資金不足解消につながる病院独自の経営努力を期待する。

【経費削減に係る項目】

項番	項目	30年度 目標値	30年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
7	職員給与比率	52.2	52.0	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
8	材料費比率	21.9	22.6	C	C	
9	後発医薬品(ジェネリック)使用割合	77.0	95.9	A	A	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目 I

【収入確保に係る項目】

項番	項目	30年度 目標値	30年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
10	病床利用率	78.0	70.9	C	C	病院は、病床利用率減少の要因について ・医師の異動や両立支援などによる診療体制の変更 ・治療方針の変更 を挙げているが、医師の安定確保等、診療体制の構築はもちろんのこと、病院の特色（強み）を生かし、病床利用率を上げていく必要がある。
11	入院単価	58,500	57,546	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
12	外来単価	12,500	13,265	B	B	

【経営の安定性に係る項目】

項番	項目	30年度 目標値	30年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
13	医師数(臨床研修医等も含む)	79	77	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
14	企業債残高	9,828	9,807	B	B	
15	一時借入金残高	1,198	1,643	C	C	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ

【医療従事者の確保・育成】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
1	安定した医師確保	28年度～	B	B	病院評価と同評価とするが、医師の両立支援や退職による診療体制の変更は、やむを得ない事情ではあるが、経営に少なからず影響を及ぼしている。一方で、大学病院からの非常勤医師の応援等により、診療を継続していることは評価できる。
2	看護師、コメディカルなど診療体制に見合う人材確保	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
3	初期臨床研修医受入体制の強化	28年度～	A	A	
4	院内研修等による多職種連携の更なる推進	28年度～	B	B	

【医療従事者の確保・育成】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
5	認知症ケアチームなどのチーム医療の強化	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
6	働きやすい院内環境の整備など	28年度～	B	A	24時間保育の継続のほか、医師の早期復職に寄与している。また、待機児童もいないことから、働きやすい環境が整備されていると判断できる。病院評価は「B」としていたが、委員会としては「A」とする。
7	医療機関・介護施設等、多職種との情報交換会の開催	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。

【収入増加（維持）への対策】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意見
8	7対1入院基本料などの施設基準の維持	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
9	地域包括ケア病棟の活用	28年度～	A	A	
10	ハイケアユニット（HCU）の運用	28年度～	B	B	
11	かかりつけ医との連携強化	28年度～	B	B	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅱ

【経費削減（抑制）への対策】

項番	項 目	目標年次	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意 見
12	医療機器の効率的で効果的な更新整備	28年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
13	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の拡大	28年度～	A	A	
14	材料費価格の適正化	28年度～	B	B	
15	エネルギー診断等による光熱水費の削減	28年度～	B	B	

【その他】

項番	項 目	目標年次	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
				評価	意 見
16	院内スペースの狭隘化解消	29年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
17	経営形態の現状と見直しの方向性	29年度～	—	—	

苫小牧市立病院新改革プラン評価項目Ⅲ

【毎年度の収支計画】

(単位：百万円)

項番	収益的収支	30年度 目標値	30年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
1	病院事業収益	10,844	10,410	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
2	医業収益	9,561	9,029	C	C	
3	入院収益	6,230	5,686	C	C	
4	外来収益	2,550	2,565	B	B	
5	その他	781	778	C	C	
6	医業外収益	1,262	1,360	A	A	
7	特別利益	21	21	B	B	
8	病院事業費用	10,926	10,475	A	A	
9	医業費用	10,398	9,949	A	A	
10	職員給与費	4,995	4,699	A	A	
11	材料費	2,096	2,037	A	A	
12	経費	2,300	2,328	C	C	
13	その他	1,007	885	A	A	
14	医業外費用外	492	481	B	B	
15	特別損失	36	45	C	C	
16	経常収支	▲ 67	▲ 41	A	A	
17	当年度純損益	▲ 82	▲ 65	A	A	
18	内部留保資金	791	518	—	—	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。

項番	資本的収支	30年度 目標値	30年度 実績値	病院 評価	苫小牧市立病院新改革プラン評価委員会評価・意見	
					評価	意見
19	資本的収入	861	1,158	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
20	企業債	350	332	B	B	
21	他会計負担金等	510	799	A	A	
22	その他	1	27	B	B	
23	資本的支出	1,304	1,294	B	B	
24	建設改良費	387	387	B	B	
25	企業債償還金	875	874	B	B	
26	その他	42	33	B	B	
27	資本的収支	▲ 443	▲ 136	B	B	

28	その他資金変動額	▲ 82	▲ 231	—	—	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
29	単年度資金収支	184	86	B	B	
30	累積資金収支	▲ 1,537	▲ 1,643	C	C	

31	資金不足算入対象外流動負債	754	753	—	—	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価と同評価とする。
32	資金不足額	783	890	C	C	
33	資金不足比率	8.1	9.8	C	C	

令和元年度委員名簿

区分		所属	役職	氏名	備考	
委員	医療関係	委員長	一般社団法人 苫小牧市医師会	副会長	豊田 健一	
		副委員長	一般財団法人 ハスカッププラザ (苫小牧市保健センター)	専務理事	棒手 由美子	
			北海道胆振振興局保健環境部 苫小牧地域保健室(苫小牧保健所)	次長	高橋 英俊	
	経済界		苫小牧信用金庫	常務理事	蓮沼 政浩	
			苫小牧商工会議所	専務理事	森本 恭行	
			苫小牧消費者協会	副会長	伴辺 久子	
	学識経験者		苫小牧駒澤大学	教授	川島 和浩	
	事務局		苫小牧市	副市長	福原 功	
		市立病院		院長	松岡 伸一	
				事務部長	佐々木 薫	
			次長	桐木 賢		
			経営管理課長	那須 哲也		
			医事課長	小林 泰賀		
			地域医療連携室 主幹	名越 真浩		
			経営管理課 課長補佐	駿河 まゆみ		
			経営管理課 財務係主査	桑島 敬輔	庶務担当	

令和元年度 市立病院新改革プラン評価委員会 審議日程

1 評価委員会・市議会審議日程

日付	内容	備考
9月	第1回評価委員会（持ち回り開催） 自己評価書提示、指摘事項・質問等の受付	委員に資料を送付
10/4	市議会決算委員会 新改革プランローリング版提示	
10/21	第2回評価委員会開催 自己評価の審議	委員出席
11/19	第3回評価委員会開催 委員会評価作成及び決定	委員出席
11/28	市長へ委員会評価報告書提出	委員長、副委員長出席
12月	市議会議会（厚生委員会） 委員会評価報告書を提出	

2 評価委員会の開催場所等

	日時	場所	備考
第1回	9月（持ち回り開催）	—	
第2回	10/21（月）18:30～	市立病院 講堂B	
第3回	11/19（火）18:30～	市立病院 講堂B	

3 市長への評価報告書提出の開催場所等

日時	場所	内容	備考
11/28（木）16:00～ 17:00	市役所5階第一応接室	委員長、副委員長から 市長へ評価報告書を提出	